

筑波大学新聞

第267号

編集責任 筑波大学新聞 編集委員会 委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040-6699 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から

総合科目 約8割が満足と回答 MTGF ポケモン社長が講演 茗溪山脈 ジャンボ鶴田の人生 ラグビー 強豪同志社大破る 大学にスターバックスは必要か 天の川 環境改善

11 10 9 8 2 2

特集 6,7

旅立つアスリート より高く、こころを羽ばたく

ミニ特集 3

退職教員 4人の教授が思いを語る

OB・OG大学評価

卒後20年アンケートを実施

9割が本学を勧める

筑波大学を卒業して20年経つOB・OGに、筑波大学に関するアンケートが...

回収には、ホームカミング年のホームカミングデーの...



DC展

年末、年始の8日間茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた(5面に関連記事)

生物の知識を前提とされる学類に所属してはいるが、高校生物を履修して...

80%以上が「役に立った」

来年度は数学にも導入

生物学リメディアル 生物学を試行的に開講する...

「役に立った」と答えた学生が、80%以上...

必要を感じたものについては、「コミュニケーション...

生物資源学類、地球学類、社会学類、情報メディア...

大学入試センター 6798人が受験 寒さで入室早める

減少。一番受験者数の多い英語で6059人が受験した...



1月19、20日に行われたセンター試験。いつもは大学生でにぎわう本学キャンパスも受験生の緊張した表情があちこちで見られた(撮影・篠崎真希=国際総合学類)

つくば歳時記

足元を見れば人間が分かる。実家の父親はよくそう言っていた...

新人事制度 年俸制を導入

本学は既存の雇用形態に加え、新たに任期付きの契約職員制度を導入を決定した。

原則5年以内。選考は現行の常勤職員の任用手続きと同様に行われる。

足元を見れば人間が分かる。実家の父親はよくそう言っていた...

茗溪・筑波グランドフェスティバル

ポケモン社長が講演

世代を超えた交流楽しむ

宣揚歌「桐の葉」合唱

本学の前身、東京教育大を含む本学の卒業生と在校生が交流する第12回茗溪・筑波グランドフェスティバル(MTG)が1月26日、大会会館などで開催された。3回目のつば開催となった今回は、テーマ字を「響」とし、学生121人、卒業生68人が参加した。

開会に先立ち、午前11時から総合交流会館で、研究室や学生による展示「筑波大学の先端技術」が行われた。画像情報研究室では、サッカーの試合を好きな視点から見ることができ、「自由視点サッカースタジアム」などの研究を展示した。

午後1時半から行われたオープニングセレモニーでは、昨年11月に亡くなった鶴川昇前茗溪会理事長に黙とうが捧げられた。午後2時から「シンポジウム」創造力を育む」が行われ、株式会社ポケモン社長石原恒和さん(83年芸術学研究所修了)による講演「ポケモンのキセキ」が、パネルディスカッションが行われた。パネルディスカッションでは石原さんと、新井達郎教授(数物)、大田友一教授(シス情)、登大遊さん(フットイサ株式会社代表取締役会長・シス情)がパネルとなり、創造力をテーマに議論が行われた。石原さんは「個人で発揮する創造力と、チームでつくる創造力がある。どのような環境が、自分やメンバーを一番生かせるかを考えるのが大切」と語った。シンポジウムの最後に設けられた質疑応答では、学生や卒業生から多くの発言があり、開催時間を20分延長するほどの盛り上がりを見せた。

午後17時15分からは、第一エリア食堂で懇親会が行われた。立食パーティー形式で、参加者は2時間ばかり世代を超えた交流を楽しんだ。閉会直前には、参加者全員で肩を組んで輪になり、宣揚歌「桐の葉」の合唱が行われた。



ポケモンについて語る石原社長(大会会館ホールで)

約8割が満足と回答

総合科目アンケート

総合科目編成委員会(委員長 山田宣夫教授・文)が2学期に行った総合科目の授業評価アンケートの結果がまとまった。2学期に開講された53科目で行われ、受講者4700人中4284人が回答した。全ての質問項目で肯定的な回答の割合が1学期を上回り、全体として高い評価を得た。

アンケート項目は全部で11項目。学生の授業への意欲では79.2%(1学期76.9%)、授業内容の理解度では76.7%(同69.7%)、総合的な満足度では82.2%(同75.2%)が肯定的な回答だった。受講者が50人以上で特に満足度が高かったのは、「脳・心・感性の科学」2(医学開設)、「スポーツ科学」最新線II-基礎編」(体育開設)だった。この2科目は10の学類からそれぞれ5人以上が受講しており、満足度と履修状況の双方から見て総合科目として学生から高い評価を受けたといえる。

学群・学類以外の開設科目では、総合科目編成委員会が開講した1卒業生によるオムニバス講座2007(社会人としていかに生きるか)の満足度が高く、11の学類からそれぞれ5人以上が受講した。

総合科目編成委員長の山田教授は総合科目として「今後も継続していくことを学生が望んでいる表れではないか」と話した。

全科目の平均履修者数は118人で、履修者数が平均履修者数の2.4倍を超えた科目は2科目あり、1学期の5科目から減少した。一方、履修者が平均受講者数の3割を下回った科目は4科目だった。

山田教授は「単に個別の学問を教えるだけでなく、異分野の学生が受けても理解でき、役に立つような質の高いことを教えられよう改革をしていくべきなのではないかと話した。

副学長懇談会

厚生と安全が課題

多くの学類・専門学群から幅広く履修者が集まった科目は、上記3科目のほか、「心の実験室2」(心理開設)、「アート&デザインII-生活や社会との関わり」(芸術開設)などがあつた。特に「心の実験室2」は19の学類・専門学群からそれぞれ5名以上の受講者が集まった。それに対して、自組織の学生が全受講者数の7割以上を占めた科目も1科目あった。

2学期は全体的に評価が高かったものの、その一方で入門と銘打った科目の中には、「難しい」「入門になっていない」といった感想があり、教員と学生との間に認識の差が見られた。山田教授は「単に個別の学問を教えるだけでなく、異分野の学生が受けても理解でき、役に立つような質の高いことを教えられよう改革をしていくべきなのではないかと話した。

また、大学周辺地域の安全確保についても話し合われた。昨年10月に大学近くの交差点で本学学生が巻き込まれた死亡事故があった反省から、再発防止に向けた対策について意見交換した。学生生活課の土井昇専門職員は「事故のあった平塚線沿いの植え込みを短く刈ってもらった。車道からの見通しもよくなり事故防止につながるだろう」と話した。そのほか、学生の交通マナーについて「メールをしながら自転車に乗る学生が目立つ。危険な」などの指摘もあつた。

東京教育大学長として深刻な大学紛争を解決して筑波大学の誕生に大きく貢献し、第二代学長として新構想の筑波大学を軌道に乗せることに尽力された宮島龍興先生が、昨年11月に91歳の天寿を全うされた。謹んで哀悼を祈ります。

物理学科の改革は朝永先生のノーベル賞受賞研究という大成果を収めた。戦中戦後の厳しい環境での創造的な研究と教育の体験が、宮島先生の抱く大学像の原点であった。

敗戦後の学制改革で大学に教養課程が設置されたが、教養課程における物理教育の教科書として誕生したが、朝永先生は「一人は無知の壁で囲まれている。なんでも分かっていこうと思うのが一番愚かである。慎まらなければならない」という懸念を出題して学生の意表をついたことが挙げられる。

先生は「人は無知の壁で囲まれている。なんでも分かっていこうと思うのが一番愚かである。慎まらなければならない」とい

追悼 宮島龍興先生

康夫

新構想大学を軌道に

1976-80年の間、本学の学長を務めた

「物理学科の改革は朝永先生のノーベル賞受賞研究という大成果を収めた。戦中戦後の厳しい環境での創造的な研究と教育の体験が、宮島先生の抱く大学像の原点であった。」と書かれた。

夢を語り、その実現を確かめるには知的好奇心と対話が必要である。先生は創造的対話を重視しておられた。先生の知的好奇心の1例として、物理の学生に依頼され、「魚はなぜ前進するのか」という懸念を出題して学生の意表をついたことが挙げられる。

先生は「人は無知の壁で囲まれている。なんでも分かっていこうと思うのが一番愚かである。慎まらなければならない」とい

障害学生支援シンポジウム 支援のあり方考える 大学の枠越えたケアを

大学での障害学生支援のありかたについて考える筑波大学障害学生支援シンポジウムが、12月19日2日101教室で障害学生支援室主催のもと開催された。広島大学ボランティア活動室長の佐野真理子教授の講演後、本学障害学生支援室副室長の鳥山由子特任教授と支援学生らが本学の支援体制について紹介した。

佐野教授は講演の中で、各大学の障害学生支援でよく発生する問題などを紹介した。その後、筑波大学の障害学生支援の歴史を例に、全学的な障害学生の支援システムを構築するための条件や課題を述べた。また、鳥山特任教授は本学における障害学生支援のコンセプトとして学生中心の支援活動などを挙げた。

続いて本学の支援学生らが活動の様子を映した映像を使うなどして、実際の活動について発表した。点字プリンターから点字の文章が打ち出される映像



会場では手話による同時通訳が行われた

や、電動椅子で生活する本学学生の日をおさめたドキュメントが上映されると、参加者達は真剣な面持ちで映像を見入った。

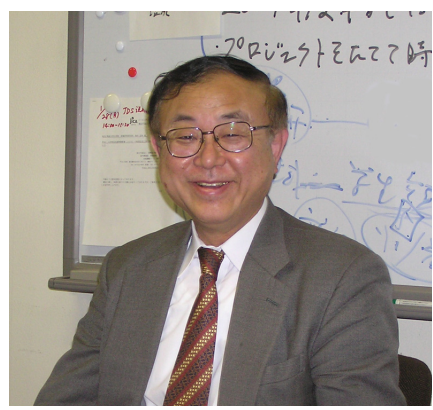
シンポジウムの最後に佐野、鳥山両教授と支援学生らが壇上上がりでディスカッションを行った。今年初めて聴覚障害者を受け入れたという東京理科大の職員のからは「実験中心の授業の中では、どのようなケアをしただけか」という質問が挙がった。これに対し鳥山特任教授は「実験では、障害学生支援の輪を広げていくことの必要性を語り」それに向けて、できる限りのことをしていきたい」と、これらも大学として積極的に障害学生支援に関わっていく姿勢を見せた。

会場を訪れた筑波技術大学の女性職員は「筑波大学の障害学生の支援体制がよくわかった。来年はもっと大きな規模で開催して欲しい」と話した。

退職教員 これまで思いを語る

今年も29人の教員が退職する。先生方の経験をもとに語られる講義では、学問だけでなく人生についてもさまざまなことを教わった。退職する4人の先生に話を聞いた。(本紙・松本典子Ⅱ人文学類馬野裕子、高橋俊樹Ⅱ社会学類、篠崎真希Ⅱ国際総合学類)

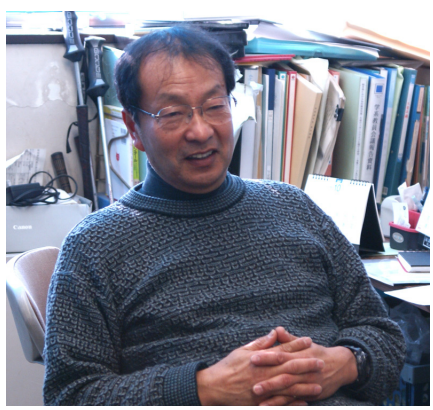
社会をキャンパスに研究



小野澤正喜 教授 (文化人類学)

「地域に入って何かを学んだ。通っていた東京大。小野澤正喜教授(歴史) 学問では、学生と地域の研究スタイルだ。その原の住民が一緒になって実践知を身につける活動が活発な学生時代にある。1960年代。小野澤教授は、労働者や若者と共の学生時代は、学生運動が最も高まりを見せた時代の中で、小野澤教授は地域

障害ある人の生活豊かに



後藤邦夫 教授 (特殊体育学)

「不足するが2でなくて、1の生活を豊かにすることにしたい。みんなが期待通りの答えを出せるわけじゃない。これは後藤邦夫教授(体育)が教員生活の中で、ある人の余暇の貧困を目の当たりにしたことがあった。学卒業後、東京教育大付属の養護学校で体育を教え、1988年に本学に赴任。教員生活を通じて、スポーツを通して知的障害のある人

の学生と卒業後も8年にわたって連絡を取り続けていたが、その教員が昨年と意気込みを語った。

学の研究計画の1環で2年間タイに行き、タイ仏教について現地調査を行った。修士論文以来アフリカ研究に取り組みたいが、タイでの生活をきっかけに東南アジア研究の道に入った。83年、小野澤教授は歴史人類学系の助教として本学に招かれた。「大学紛争後に作られた筑波大学には、私たちが学生運動で主張してきたことが反映されている。筑波大学に招かれたのは運命だと思う」と小野澤教授は語る。

化学的な考え方を伝える



菱山謙二 教授 (人権社会論)

「化合物が作る色や結晶がとてきれいな」と話す岡本健一(化学専攻)教授が研究していたのが、2001年に地域研究研究科に籍を戻ってからは研究科長を務めている。一方、岡本教授は大学の運営にも関わってきた。本学が国立大学法人になった平成16年には環境安全管理室が設置され、室長に就任した。環境安全管理室は研究環境の整備や、実験に使用する薬品の管理、廃棄物の処理といった業務を大学の責任の下で行っている。就任して間もなく、大学が廃棄した冷蔵庫から劇物の過酸化水素や希釈したウラがみつかるという事件が起こった。岡本教授は本学

人権問題の解決に尽力

「同和地区の人々への差別意識をもっとなくしたい」。本学で社会学を学んだ。1974年に助手として琉球大学に赴任。離島に教えるが、同和地区の生活環境の改善に尽力してきた。菱山謙二教授(社会学)だ。30年近く取り組み続けてきた人権問題の解決は、いまやライフワークとなっている。転機が訪れたのは、30代前半。同和問題の専門家



岡本健一 教授 (無機化学)

の研究環境を向上させた。実地したほか、筑波スタンダードの策定やFD体制の構築にも先頭に立って取り組み、教育体制の向上に尽力した。岡本教授は、「教員の意識改革を促すとともに、大学全体としての方向付けを目指した」と語る。「まじめだが、授業で質問しないなど、やや消極的なところがある」と岡本教授は本学学生の印象を語る。そんな学生に対しては、「勉強・研究も遊びも大事。メリハリのある生活を送ってほしい」とメッセージを送った。退職後の予定はまだ決まっていない。「畑仕事をしながら、のんびり考えるつもり」と語った。

最終講義

- 【人文社会科学部】
 - ◇名波弘彰教授「演技と歴史―八幡信仰と朝鮮半島・対馬島―」2月23日午後3時、総合研究棟B公開講義室A
 - ◇数理論理学研究
 - ◇瀧田宏樹教授「研究と教育の思い出の中か」2月11日午後3時、総合研究棟B棟0110公開講義室
 - ◇浅川潔教授「10年のチフォートクス研究」とこれからの10年」2月11日午後4時、総合研究棟B棟0110公開講義室
 - ◇野村武男教授「筑波大学における水泳研究の過去・現在・未来」2月11日午後2時、大会館国際会議室
 - ◇萩原隆教授「国語教育のためのコンテキスト」2月13日午後3時10分、大会館国際会議室
 - ◇福田弘教授「ベスタロッチの視点から見た現代の教育課題」2月13日午後1時40分、大会館国際会議室
 - ◇中村満紀男教授「障害原理論の可能性と課題」2月29日午後3時15分、大会館3階特別会議室
 - ◇戸村成男教授「医療・福祉の場での高齢者との出会い」2月19日午後4時45分、総合研究棟D116公開講義室
 - ◇野村武男教授「筑波大学における水泳研究の過去・現在・未来」2月11日午後2時、大会館国際会議室
 - ◇萩原隆教授「可能性への挑戦 人間力を高めるための筑波の体育・スポーツ」2月7日午前10時10分、大会館講義室
 - ◇皆川春雄教授「出会いに生かされる」2月11日午後4時、東京キャンパスG501教室
- 【入閣総合科学研究科】
 - ◇久島繁教授「努力する」と将来が見えない・不思議な話の本音」2月18日午後3時、総合研究棟A110公開講義室
 - ◇生田環境科学研究科
 - ◇小池正之教授「アジアにおける農業機械化の新たな展開」2月15日午後4時40分、総合研究棟A110公開講義室

反射鏡

思い出深い 宿舎に4年

井上千里(人文4年)
四年間、宿舎暮らしだった。六畳、ベッド・机・シンク付き、収納なし、風呂・トイレ・洗濯機・キッチン共同。「住めば都」と言うが別にそれは都でも何でもなく、「住めば住める」みたいな所だった。アパートの方が、絶対に住み心地が良いに違いない。

さらに、私の部屋ではさまざまな怪現象が起った。密室にスズメバチが侵入したことが二度もある。私は宿舎電話で事務に

「ロケてる女」みたいなものであって、愛情表現だ。四年間宿舎入居の抽選に当たり続けることは、確率的には筑波大学に合格するより難しい。私はそれを乗り越え、宿舎で数え切れない程

の思い出を作ってきた。けり。きつとやれることは全部やった。だからもうこの袴での卒業式、懐かしさを感じる



今月のテーマ

「卒業にあたって一言」

高山綾香(社会2年)
今年卒業式を迎える先輩方、少し気が早いですが、ご卒業おめでとうございます。

初雪も降り、寒さがとても厳しいこの頃。東北出身の私も、つばの寒さは身に染みます。しかし、書箱部などに貼られている卒業式用レンタル袴のポスターを見ると、少し懐かし

「卒業」の時期も近づいているのだなあと感じることがあります。

なぜ「懐かしい」のかというと、私の通っていた高校でも、副作用がないことを将来にわたって保証するものではない。薬とは毒にも薬にもなることを医療に携わる者だけがでなく、患者も理解する必要があります。

そのうえで、今回のように重大な副作用が報告された場合は速やかに各方面に周知徹底させるのが厚生労働省の役目であり、この責務を厚生労働省が怠っていたため、多額の国民の税金を賠償に使わなければならないことになったことを厚生労働省は肝に銘じるべきであ

筑波時評

先日、血液製剤のフィブリノゲン投与によりC型肝炎に感染した患者が、国と製薬会社を相手に損害賠償を求めた訴訟に対して、大阪高裁において和解勧告が示された。その後、全員一律救済という国の方針が出された。内容は全員に症状に応じて1200万円から4000万円を支払うというものである。

薬害肝炎 救済措置に問題残る 医薬への正しい理解を



大河内 信弘

病気が治るわけではない。これは言うまでもない。今回の救済措置の対象となる患者は約1000人と推定されている。C型肝炎の患者は全国に約250万人いるといわれ、その大部分は輸血や注射の使い回しによる感

染したと考えられている。もし、血液製剤による肝炎患者を救済することを国が本気で取り組むのなら、これらの患者も救済すべきである。

また、救済金というお金での賠償方法にも問題が残る。現在、慢性肝炎

おいても東洋医学においても副作用のない薬劑はない。マスコミの報道は、まるで薬は副作用を持つていば悪いものである。治療薬として使われるべきではないと言っているように解釈される。現在副作用が報告されていない薬でも、副作用がないことを将来にわたって保証するものではない。薬とは毒にも薬にもなることを医療に携わる者だけがでなく、患者も理解する必要があります。

そのうえで、今回のように重大な副作用が報告された場合は速やかに各方面に周知徹底させるのが厚生労働省の役目であり、この責務を厚生労働省が怠っていたため、多額の国民の税金を賠償に使わなければならないことになったことを厚生労働省は肝に銘じるべきであ

留学生の目



ファハルト・カストロ・ロッシ・ジョアナ

生物学類では留学生が少なく、日本語でしか話せないのが大変でした。アジア以外の留学生は、多分一人だけだと思えます。大学側も慣れず、戸惑っている。チューターの人がなかなか派遣されず、わ



感情を話さない日本人

ですが、日本では失礼だと思ってしまうこともありますが、言うときもやわらかく言います。だから最初は日本人に近寄りたく、留学生とばかり仲良くしていました。

けれど最近日本人の良い友達が増えました。短期留学生は留学生の友達ばかりと固まって、あまり日本人と話す努力をしません。また研究生は研究で忙しく、研究室の人以外とは話さないことが多いと思います。

日本に来てから、4月でちょうど3年になりました。2005年に来日し、1年間、東京外国語大学日本語教育センターで日本語を勉強しました。そこは外国人にとっても過ごしやすい環境でした。留学生も多く、学生はなんらかの外国語を勉強して、私の母国語であるスペイン語を話せる人も多くいました。私たちは日本語ではなく英語で会話していました。

そんな過ごしやすいところから筑波大学に来て、最初はさみしい思いをしました。国際総合学類には、留学生も帰国子女もたくさんいて、英語で会話できるのですが、た時部室の外で楽器を弾いていました。将棋部のメンバーも、ほとんど毎日部室にいます。将棋の強さはヒカイチで、部内一番強かったです。飲み会でも合宿でも常に中心にいて楽しかったです。

小原さんは、対局中腕組みをして考えている姿は他の庄倒する存在で、チームの士気を高め、引っ張ってくれました。岩田君との

次号のテーマは
今年度の計画です

TEL 029-853-6699
e-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

新人記者募集

大学新聞では新人記者を募集しています。

——マスコミに興味がある人
取材を通して**新しい世界**を知りたい人——

本紙の制作に携わってくれる方をお待ちしています。

毎週1回、月曜日 6時半から
共同研究棟 A104 で 編集会議を行っています。

お問い合わせ = 029 (853) 6699
(編集室) shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

子どもアートラウンジ 小学生ら芸術に親しむ



作品鑑賞では、様々な意見が出た。

工房やギャラリーを見学 学生に質問する場面も

小学生が直接芸術作品や制作の現場を見ることができて、芸術に慣れ親しんでもらう「子供アートラウンジ」が昨年12月22日に本学の芸術学系棟などで行われた。つくば市の小学3〜5年生21人が参加し、芸術学系の工房や学生会館のアートギャラリーなどを見学した。

工房見学では、作品を制作中の学生に子どもたちが質問をする一幕もあった。使っていた画材について聞かれた日本画専攻の学生は「聞かれて初めて自分が感得的に言葉を使っていることに気付いた。子供でも分かるように説明するのが難しかった」と話した。

アートギャラリーでは本学卒業生の佐久間愛子さんの「小さな獲物」という彫刻作品に対し、「がっかりしている」「マランのよーいどんの構えをしている」といった子供らしい自由な意見が飛び出し、見学の最後には気に入った作品の前で記念撮影を行った。

参加した小学生からは「自分たちが使うのは違う道具を使っている面白かった」「自分でも絵を描きたくなった」といった感想が聞かれた。

「子供アートラウンジ」は直江俊雄准教授(芸術)を中心として昨年7月に初めて開催され、今回は再度目立った。直江准教授は前回は初めて100メートル自由形で50秒を切ったもウィスコンシン大学でトレーニングを行っていた。しかし、私は学位の取得も目指していたため「コーチングの他に、研究活動も非常に多く強制(?)され、両立に励んでいた。私の最初の研究テーマは「水泳選手

原点

GEN-TEN

私の原点は「水」に尽きる。海の近くで育ったため、幼少の頃は近所のわんぱく仲間と自転車や海まで行き、泳ぎを教わった。その後、市民水泳大会でたまたま優勝し、それから水泳の道へとのめり込んでいった。

大学(東京教育大学体育学部)時代は、当時大塚にあったプールの「プール下」に下宿し、水泳に打ち込んだ。が、当時、世界記録に最も近かった早稲田大学の選手に、200メートル平泳ぎに出場した際、足が見えなくなるまで引き離され、自分には水泳の才能がないことを強く思い知

「水」に関わり30年 水泳でQOL高める



野村 武男

師をしていた頃、青年海外協力隊の募集で、ウィスコンシン大学にて水泳の指導者を求めていることを知り、高校教師を辞め、募集に応募。遠く海を越え、フィリピンに渡るようになった。

1968年メキシコオリンピック(高地でのオリンピック開催)で、フィリピン大学のコーチであった彼の研究室に行くと、「君はコーチになりたいのか?それとも研究がしたいのか?」と聞かれ、その両方と答えることになった。当時、その両方と答えることになった。当時、その両方と答えることになった。当時、その両方と答えることになった。

「水」の研究と教育に関わることができ、本当に良かったと思う。最近では水治療法の研究として、ドイツに赴き、最新の設備において

の肺拡散能力についてであった。日本に帰国してからも、水泳は私の研究・教育の原点であった。あれから30年経ったが、「水」の研究と教育に関わることができ、本当に良かったと思う。最近では水治療法の研究として、ドイツに赴き、最新の設備において

平山素子講師が授賞 ダンス作品「Life Casting」型取られる

「人生訓に共感」の2部構成。第一部では、ギリシア神話の「ダナエ」をテーマに、女性の美しさとかなさを表現した。第二部では、9人のダンサーが眠りをテーマにして演じた。大きなスケールを感じさせる構想力と、それを表現する技術力が高く評価された。

人生訓に共感 人生において、物事が思うように進まず落ち込むことが少なからずあると思う。その際、「これは不可抗力であり、自分には無力だ」と悲嘆にくれるだけか。社会生活や人間関係でつらいことがあっても、ただ「不幸に嘆き悲しむのみ」で打たれまわすばかりではなく、むしろ前向きに自ら道を切り開く努力が大切ではないか。

人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感

人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感 人生訓に共感

クリスマスコンサート 附属病院で開催 会場全体で合唱も

附属病院では昨年12月20日、外来診療棟1階の玄関ホールでクリスマスコンサートを開催した。始めに小児病棟で治療を受けている子ども2人によるピアノの演奏が行われた。デイスニー映画の楽曲を3曲演奏し、リコーダーとフルートによる合奏も披露した。

クリスマスコンサート 附属病院では昨年12月20日、外来診療棟1階の玄関ホールでクリスマスコンサートを開催した。始めに小児病棟で治療を受けている子ども2人によるピアノの演奏が行われた。デイスニー映画の楽曲を3曲演奏し、リコーダーとフルートによる合奏も披露した。

クリスマスコンサート 附属病院では昨年12月20日、外来診療棟1階の玄関ホールでクリスマスコンサートを開催した。始めに小児病棟で治療を受けている子ども2人によるピアノの演奏が行われた。デイスニー映画の楽曲を3曲演奏し、リコーダーとフルートによる合奏も披露した。

クリスマスコンサート 附属病院では昨年12月20日、外来診療棟1階の玄関ホールでクリスマスコンサートを開催した。始めに小児病棟で治療を受けている子ども2人によるピアノの演奏が行われた。デイスニー映画の楽曲を3曲演奏し、リコーダーとフルートによる合奏も披露した。

DC展 学生18人が出品

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。



アーカス・プロジェクト
旧校舎で光の展覧会

アーカス・プロジェクト 旧校舎で光の展覧会 会場には本学生だけでなく、地元住民や通学する親子の姿も多かった。同小学校の体育館で「芸術作品は見られていないが、廊下に埋め込まれたライトがきれいだった」と展覧会の感想を話した。

アーカス・プロジェクト 旧校舎で光の展覧会 会場には本学生だけでなく、地元住民や通学する親子の姿も多かった。同小学校の体育館で「芸術作品は見られていないが、廊下に埋め込まれたライトがきれいだった」と展覧会の感想を話した。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

DC展は人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画日本画、彫塑、書の博士課程の学生ら18人による第4回DC展が12月26〜28日と1月2〜6日の8日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は49作品が展示され、期間中は1224人の来場者が訪れた。

旅立つアスリート



女子バレーボールの澤島 以来レフトとして攻撃の中核を担い続けた頼れる大砲の4年間を「言われたことをただやるのではなく、澤島の強みは長身を生かす上で何をすべきか自分なりの攻撃力のあるスパイクの頭で考える」ところを「学べた」と振り返る。入学 講師は澤島を「大型の選り、実業団から誘いが来る

苦しいときに頼れるレフト 仲間を支えに練習重ねる



澤島文子 (バレー)

など既に注目度は高かったが、澤島は「もともと周囲の目を気にする性格ではなかった。あまりプレッシャーは感じなかった」と話す。 本学に進学してからも主力の一人として活躍したが、3年の時は全日本インカレでベスト16に終わるなど、結果を残せなかった。自身も思うようなプレーが出来ず、悩む日々が続いたが、チームメイトの存在や「悩んでもしかたがない。自分の実力を発揮できるように練習するだけだ」という中西監督のアドバイスを支えに、練習を重ねた。 キャンペーンになった後、チームを引っ張るも、チームを引っ張るべきか迷いがあった。しかし「もう先輩がいらないし、甘えは許されない」とチームを引っ張るの覚悟を決めた。今後は「苦しい時も決断から」(本紙「高橋俊樹」社会学類)

試練の1年支えた主将 楽しませるサッカーを



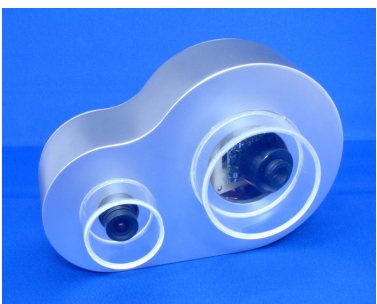
今田傑 (サッカー)

蹴球部にとって今季は関東リーグ1部残留争いなど試練の年だった。そのチームを主将として支えた今田傑(体専4年)が大学のサッカーを語った。 今田は高校時代、横浜Fマリノスのユースで活躍し、U16、17日本代表候補に選ばれた。2003年に東大で優勝した経験を持つ。チームのために走り、その時の印象を「大学のサッカーは選手のプレーに個性を感じた」と話す。武監督(体育准教授)は「小さいが、身体能力が高い、ヘディングも強い」と評す。今田を評価する。 平山相太(現・東京FC)は「山本(現・東京FC)は、後期リーグの法政大戦を今田は出場停止でスタンドから見ている。改めて修正すべき点に気付かされた。それ以降、毎試合に選手たちで試合分析をするなど意識が変わり始めた。そして迎えた最終節、中央大戦。勝たなければ降格は決定的だった。今田は負けたらサッカーをやめることも考えていた。試合は1対1でロスタイムまでもつれ込むが、終了間際に逆転した。今田は「この1年間は試練の時だったが、仲間のおかげで、最後には良いチームになった」と振り返る。



人の眼は注視する機能を持っている。だが、現在のカメラにはその機能が無い。安永守利教授(工学)のBio-Inspired Piredカメラは、生物の目を模倣して、生

体の持つ機能を実現するために開発されているカメラだ。そこで安永教授は、全体を見ながら特定のものを注視できるカメラの開発を目指している。



右のカメラで追跡する

この開発が進み、実用化されれば、現在の監視カメラで撮影されるような固定された映像だけでなく、人など動くものをピッキングアップし、追跡して撮影することができるようになる。これにより、人の眼で監視しているような次世代の監視カメラとして、犯罪などの抑制に役立つと期待されている。

研究は、2眼カメラによるア

Bio-Inspired カメラ

人を追跡するカメラ 犯罪の抑制に生かす

大・追跡を行うことが出来る。この研究を達成するには、3つの要素開発技術が必要だった。一つ目は、新しい「検出・トラッキングアルゴリズム」。対象を早く正確に追いつけるための技術だ。二つ目は、

目は、新たな「集積回路PGA」の特徴を利用した電子回路の開発。速い検出・計算と高精度を高める技術だ。同時に小型化も必要で、ボードサイズは100×80ミリメートルまで縮小した。カメラ自体の大きさ

は、現在、幅160、奥行き70、高さ95ミリメートルで、3年前のもの半分にまで小型化した。またその頃は、遠望バルチックカメラの駆動にモーターを使用していた。

さらに一回り小型化し、デザインも目指す。あと約半年後に、企業との共同開発を行い、デジタルカメラの試作機を造る予定だ。価格も、デジタルカメラの価格を指すという。

研究の一環として、つくば市との連携で、つくば市で問題となっている不法投棄場

にBio-Inspired cameraを

卒業生からの手紙

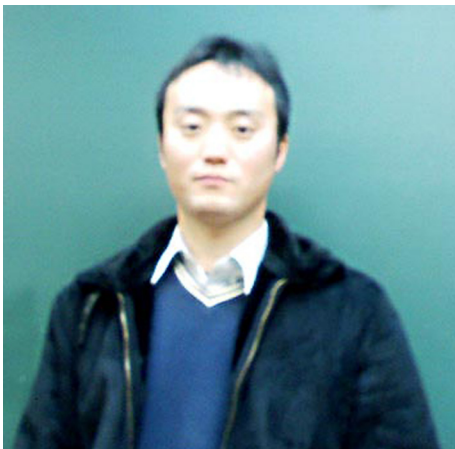
あれから10年……もう遠い昔のようにも思えます。私は社会学類を卒業後、同大学院卒業までの計8年間を筑波の地で過ごした後、大阪府の中学校教員として採用され、今、6年目を終えようとしています。

初めは自分の思い描いていた教師像と、現実の教師としての自分の実力のなさにギャップが、生徒との関係がうまくいかないことが多く、何度か「自分はやめたほうがいい、いや、やめるべきだ」と思うままに辞職した。そんな中で、職場

の多くの温かい人々の支えや励ましに守られながら、何とか今の仕事を続けてこれたと思えます。まだまだ教師としては半人前の私が、筑波の後輩たちに何か意味のあるメッセージを伝えられるのかというところ、あまり自信がありませんが、私がこの6年間で学んだこと、感じたこと、思っていること、なにかを何となく乗り越えることができた根底には、やはり筑波で過ごした8年間があると感じます。

そんな「もがき」の中で、少しずつ確かな自分なりなもの、考え方が培われていったように思い、身を見つめ直し、またチャレンジし、失敗する……精進に作用することも少なくありません。そんな時、教師となった喜びに満たされま

す。 後輩のみなさん！どうか失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジし、「かべ」にぶちあたり、そこでたっぷりたものを考えてみてください。無駄な時間を過ごした後悔するとしても、意外に役立つときが来るのかもしれない。そう願っています。 (熊取町立熊取中学校教諭、平成14年人文社会科学部研究科修了)



自分を見つめた8年間 中学校教諭 水野穰さん

す。

茗溪山脈 体育・スポーツ列伝(完)

ジャンボ鶴田 (1951-2000)

著名なプロレスラー、ジャンボ鶴田(本名・鶴田友美)は「人生はチャレンジャー」という言葉が好きで、それを体現する人生を歩んだ。

学生時代はアマチュア・レスリング(アマレス)でオリンピックに出場し、社会人でプロレスラーに転向。数々の実績を残した。また、本学修士課程に進学してコーチ



出典・『つうさん、またね。』
評価する選手も少なく

「最強」のプロレスラー 臓器提供の大切さ訴える

「最強」のプロレスラーとして知られるジャンボ鶴田は、72年に全日本プロレス入団を発表し、73年にアメリカ・テキサス州でデビュー。ジャイアント馬場の後継者として、またパートナーとして、その名を轟かせた。75年にジャイアント馬場とのコンビでインターナショナル・タッグ王座を獲得。身長197センチ、107キロの恵まれた体格と脚力のバネを活かしたドロップキック、キック・シノク、バックドロップなどの技を武器に、一流選手への階段を駆け上った。84年には日本人で初めてAWA世界

シノナル・タッグ王座を獲得。身長197センチ、107キロの恵まれた体格と脚力のバネを活かしたドロップキック、キック・シノク、バックドロップなどの技を武器に、一流選手への階段を駆け上った。84年には日本人で初めてAWA世界

全日本大学女子選抜駅伝 本学生アンカーで力走

陸上

第5回全日本大学女子選抜駅伝競走が、筑波大学をメイン会場として行われ、学生や教職員、約500人がボランティアとして交通整理などを行った。本学からは藤本知佐(体専3年)と宮谷友梨(人文3年)が関東学連選抜として出場した。

正午、12校の大学と8つの学連選抜チームが、つくば中央公園をスタートした。6区間30.67キロメートルのコース。藤本は



関東学連のアンカーで力走する宮谷(右)

茗溪学園までの第1区を走り、第2区の選手へとタスキをつないだ。ゴールは本学の陸上競技場。宮谷は、筑波大学病院からの第6区を力走し、15位でゴールした。第6区を走った宮谷は「たぐさんの応援が後押ししてくれ、最後まで踏んばることができた。来年は筑波大学として出場したい」と語った。

筑波フェスティバル 本学会場に27大学が参加 10日間で120試合予定

サッカー

全国の大学の選手がサッカーを通して交流し、大学

サッカー全体の成長に貢献することを目的とした第22回全国大学対抗サッカーフェスティバルが3月14-23日の10日間、本学サッカー場を会場に開催される。本大会では、毎年、本学蹴球部の学生が運営を担当している。

フェスティバルは、雪でグラウンドが使えない地域の大学にサッカーの場を提供することを目的としている。参加チームは当初8つだったが、ここ数年徐々に増え、全国各地から約30の大学が参加するまでになった。今年は昨年同様、27大学が出場する。参加した学生からは「さまざまなレベルのチームと試合するこ

ポランド大学に客員教授として就任した。だが、そこで肝硬変を患っていることが発覚する。最終的に、フィリピン・マニラでの肝臓移植手術を受けることになった。そして、手術中に大量出血。49歳という若さでこの世を去った。

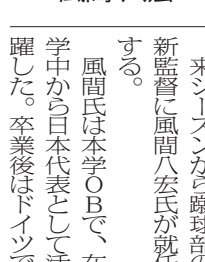
■ジャンボ鶴田基金
「ジャンボ鶴田基金は00年に妻によって設立された。海外における移植手術待機患者への支援」、「日本国内の運転免許証にドナーになる意志の有無の記載」、「日本国内において脳死移植手術の推進」を目的として広く募金を集めている。

「脳死判定の後、臓器を提供することは、人間としてできる最後のプレゼントです」と、鶴田。彼の意志はついに、多くの人々を救うために働き続けている。(本紙・柏零II社会工学類)

蹴球部に新監督 風間八宏氏が就任

来シーズンから蹴球部の新監督に風間八宏氏が就任する。

風間氏は本学OBで、在学中から日本代表として活躍した。卒業後はドイツで



風間 八宏

プレリ、帰国後はJリーグの広島などに所属。引退後は桐蔭横浜大監督、日本サッカー協会特任理事などを経歴し、サッカーの解説者としても活躍している。

風間新監督は「筑波大は自分の母校でもあるし、若い選手やコーチが迷っているなら力になりたい」と抱負を語った。

関東代表として出場 準決勝に一步届かず

第16回全日本大学女子サッカー選手権大会が神戸や国立競技場を会場に12月24日-1月13日にかけて行われ、本学女子が出場した。

同大会は、全国の9地域から選ばれた16チームが参加。本学女子は9月から11月にかけて行われた第21回



昨年の第一サッカー場での一戦。

同大会の大会実行委員長青井俊輔(体専3年)は「準備は10月から始め、年明けから本格化してきました。今シーズンの練習も始まり、これからは選手であり、実行委員でもある生活が続きますが、実行委員、部員全員でよい大会をつくってほしい」と話した。

【柔道部】全国国立大学柔道大会男子団体 優勝/新井優来(体専1年) 日本ジュニア柔道団体別選権大会 100kg以下級 優勝【水泳部】水落夏海(体専3年) 第83回日本学生選手権水泳競技大会 女子50m自由形 優勝/岡本優(体専1年) 平成19年度日本学生選手権水泳競技大会 飛込競技男子3m飛板飛び込み 優勝【体操部】第6回全日本チャレンジャー大会 シンクロナイズドGボール審査員特別賞/第3回全日本学生ラート競技選手権大会 筑波大学A 優勝/諏訪部和也(体専2年) 第6回全日本学生エアロビック選手権大会 男子シングル部門 優勝/小山信博(心障4年) 第7回世界ラート競技選手権大会 男子シニア跳躍2位/福原一郎(生資4年) 第3回全日本学生ラート競技選手権大会 規定演技部門男子総合 優勝 自由演技部門男子斜転 優勝/吉田望(体専4年) 第3回全日本学生ラート競技選手権大会 規定演技部門女子 総合優勝 自由演技部門 女子直転優勝/森口更紗(体専4年) 第3回全日本学生ラート競技選手権大会 自由演技部門女子跳躍 優勝 自由演技部門女子斜転 優勝/江塚和哉(体専2年) 第3回全日本学生ラート競技選手権大会 自由演技部門女子直転 優勝【体操部】田窪啓太(体専2年) 第61回全日本学生体操競技選手権大会 種目別鞍馬 優勝【ダンス部】第20回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 文部科学大臣賞【女子バレー部】渡邊美穂(体専1年) 2007世界ジュニア女子バレーボール選手権大会3位【ライフェービング部】宮沢麗(社会3年) 2006年全日本ライフェービング室内選手権大会 SERC 優勝/山口夏海(社工3年) 2006年全日本ライフェービング室内選手権大会 SERC 優勝/寺村泰介(体専2年) 2006年全日本ライフェービング室内選手権大会 メドレーリレー 優勝/田山俊介(体専2年) 2006年全日本ライフェービング室内選手権大会 ライフスロー 優勝【陸上競技部】第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子4×100mリレー 優勝/第91回日本選手権リレー 競技大会 4×100mリレー 優勝/斉藤仁志(体専2年) 第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子200m 優勝/土屋光(体専4年) 第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子高跳 優勝/川口直哉(体専2年) 第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子棒高跳 優勝/秋本啓太(体育4年) 第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子円盤投げ 優勝/美濃部貴衣(体専4年) 第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子砲丸投げ 優勝/林田真那美(体専4年) 第76回日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子円盤投げ 優勝/品田直宏(体専4年) 第62回国民体育大会 成年男子走幅跳 優勝【団体奨励賞】バトミントン部【運営委員奨励賞】広報局 染谷陽介(生資2年) ラクロスクラブ/渉外局 田原聖悟(情報2年) 卓球部 総務局 中島慧(体専2年) 女子ハンドボール部 武部尚美(生物2年) トライアスロン部 樺沢裕(体専2年) アメリカンフットボール部 橋本夏樹(体専2年) 男子ハンドボール部/スポーツ・テニ局 古川隼人(工シス3年) 柔道部/会計局 植松裕太(比文2年) バドミントン部/財務局 大島あずさ(自然2年) バドミントン同好会/施設局長島康子(体専2年) 女子サッカー部/書記局 川上雄太(工シス2年) 鹿島神流武道部

2007年度体育会賞

同大会では出場チームが4グループに分かれて対戦し、各グループの1位が決勝トーナメントに進出する。女子サッカー部はBグループの2位と健闘したが、武蔵丘短期大学に敗れ、惜しくも準決勝進出に届かなかった。今シーズンにつ

いて後藤邦夫監督(体育・教授)は「我々の得意とするパスを回してすきをみて攻め込むプレーが完成しつつある。ただ、相手のディフェンスが速い余剰をもってパスが回せなくなるのが課題」と話した。

全国大学ラグビーフットボール選手権大会 10年ぶりの全国ベスト8

強豪の同志社大を破る 3年前の雪辱を果たす

ラグビー

第44回全国大学ラグビーフットボール選手権大会が昨年12月16日〜17日、国立競技場(東京・渋谷)で行われた。同志社大学は、3年前の雪辱を果たすべく、10年ぶりにベスト8入りした。同志社大学は、3年前の雪辱を果たすべく、10年ぶりにベスト8入りした。



同志社大学相手に善戦する本学ラグーマン達 (提供=ラグビー部)

は帝京大学と対戦し、8-46で敗れた。同志社大学は関西Aリーグで優勝し、全国へと駒を進めた強豪校だ。同志社大とは3年前の全国大会で一回戦で対決し、逆転負けを喫した。今回の対戦は、十分な準備期間を経て、良いコンディションで迎えられた。試合内容は前半リードされた状態で折り返したものの、後半で逆転した。その後、本学の選手一人が10分間の退場。あとトライで相手に逆転されるところまで追い上げられた。インゴールまで攻め込まれるものの、なんとか乗り切り勝利。3年前の雪辱を果たした。

関東学生剣道新人戦大会 惜しくもベスト8 次への手応え感じる

剣道

第53回関東学生剣道新人戦大会が12月8日、東京武道館(東京・足立区)で開催された。83校が出場し、本学はベスト8の成績を残した。本学は、初戦からの3戦は難なく勝ち上がったが、準々決勝の東海大との対戦で敗北した。本学は最初、先鋒と次鋒で2勝したものの、副将まで3敗を喫してしまっ。2本先取しなければチームが勝ち上がれない状況で迎えた大将戦、松澤孝憲(体専2年)は「絶対に2本取る」と自信を持って臨んだ。しかし、開始1分過ぎ、相手を攻め崩せず、面を打ったところで小手を取られ、チームの負けが決まった。その後、1本取り返すも、終盤で抜き胸を返され、松澤自身も敗れた。松澤は「チームの力量的には優勝を狙えた。大将の役目を果たせなかった。本番は夏の関東(全国)だから、それに向けて頑張りた」と語った。

れ、正月国立競技場での夢は終わった。古川拓生監督(体育・講師)は「キャプテンの10分間の退場で心の支えを失ったことや、追いつけない点差で気持ちが切れてしまった。また、乗るところで乗り切れなかった」と敗因を述べた。今後に向けて古川監督は「決して下を向くような結果ではない。だが、地方の差が出ていた。来年以降は全国大会に出場し続けられるようにしたい。更には今回以上の成績を出せれば、と思ってる」と語った。

山口香氏が本学准教授に 五輪メダリストが就任

柔道

本学柔道部出身で、ソウル五輪銅メダリストの山口香・武蔵大学教授(平成元年度から人間総合科学研究科(体育)の准教授として本学に赴任することが明らかになった。東京キャンパスでも金メダル1個、銀メダル4個を獲得、また女子

女子は競るも準優勝 男子はベスト8

バレー



嘉悦大戦でスパイクを打つ水田

学生日本一を決める全日本大学バレーボール選手権大会が昨年12月10〜16日、東京体育館(東京・渋谷)などを会場として行われた。4年ぶりの優勝を狙った本学女子は決勝戦で嘉悦大に1-3で敗れ、結果は準優勝。昨年準優勝の男子は順天堂大に1-3で屈し、ベスト8に終わった。

秋リーグを制し、優勝候補の一角として本大会に臨んだ女子は、決勝で秋大に1-3で敗れ、11年連続の決勝進出を逃した。都澤凡夫監督(体育・教授)は「力の差はなかったが、三回戦の国際武道大戦でヒートが来てしまい、余力を残せなかった。ただ、今年は下級生が多かったため、今後の成長を強く期待している」と語った。

個人賞は以下の通り。「女子」敢闘選手賞・澤田文子「男子」敢闘選手賞・水田祐未「V」賞・中村早紀(体専2年)◇全日本バレーボール連盟に加盟する全チームで日本一を争う天皇杯・皇后杯全日本選手権大会のセミファイナルラウンドが1月2〜6日、とろろアリーナ(神奈川県・川崎市)で行われる。本学の女子バレーボール部が皇后杯に出場し、V・プレミアリーグの武蔵大バンブーと対戦したが、0-3で敗れた。

好奇心で大舞台楽しむ



全日本2位入賞 古屋欽司(医専4年)

「練習が楽しい」と話す。このあとも、つらいと感じることはないという。「不思議だな、と思うこともたくさんある」という好奇心が、上を目指して練習する。大舞台に挑んだ初めての努力を振り返る。馬野裕子(社会学類)

顔

ドイツ生まれのニュースポーツ、ラート。約2メートルの鉄の輪を2つ平行につないだ器具を使い、回転や跳躍の美しさを競う競技だ。宇宙に似ているような無重力感覚を味わえるとして、近年注目が集まっている。昨年11月に行われた第13回全日本ラート競技選手権大会で総合2位に入賞した古屋欽司(医専4年)もラートに魅了された一人だ。

問題提起

大学にスターバックスは必要か

津田幸男

本紙の266号(12月17日発行)の一面で、中央図書館内に喫茶スペースが設置され、スターバックスがコーヒータウンを...

主観の立役者になってよいものだろうか。大学は単なる知識の切り売りをするところではない...

他にも少なからず二つの問題があります。第一に、スターバックスは今や世界中に広がっている...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

昨年12月17日付本紙に「図書館に喫茶設置」...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

この種の店舗を大学に導入するということは、大学は商業主義や消費主義を...

導入も、有名店を導入して話題作りをして、大学の「目玉」にしようという「魂...

第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」制度など良心的な側面もある...

私たちが支那の植民地といっても過言ではありません。スターバックスを導入し...

「目玉」にしようという「魂胆」を感じます。大学自体が商業主義化してしまっ...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

18歳人口の現実を前に、どの大学の学生獲得のためにさまざまな改革を行...

喫茶設置に関する意見をお寄せ下さい。 Email: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

学生主催の学習会 医療問題を議論 早期がん治療の大切さ説く

学生サークル「賢講薬学」が主催する医療の学習会が、1月17日、1D204教室で行われた。...

教室で行われた。医学をはじめ、国総、社会、生質など、幅広い学類から参加者が集まり、...

第一部では「混合診療」についての仕組みについて説明を受けたあと、その利点や問題点について、議論を行った。...

第二部の「がん医療」では、日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるというデー...

昨年男子が2.22倍、女子が1.31倍、アセスンが2.22倍、アセスンが2.22倍、アセスンが2.22倍...



多様な楽器や合唱のソロ企画

4サークルが共演 芸サ連クリスマスコンサート

芸サ連の所属サークルが合同で発表を行うクリスマスコンサートが、12月23日、図書館に喫茶設置「ス...

「精神的権威」であることを貫徹すべきです。第二に、スターバックスは店内禁煙や「マイカップ」...

7月に追悼イベント開く 故・秋野氏を偲ぶ会

1998年7月にタジキスタンで武装集団によって襲撃され、殉職した秋野豊氏のメモリアルコンサート...

当日は、国総12期生でポストンを拠点に活動するジャズミュージシャンの阿部恒憲さんらによる演奏後、国総の同窓会が開かれ、約100人が会場を訪れた。

秋野氏の長女、秋野さやかさんは「父の言葉をテーマに阿部さんが書いた『蛇頭龍尾』は父の言葉の真意をそのまま表した曲だと思...

2007年是不二家の賞味期限偽装発覚に始まり、赤福・ミートホープなど相次ぐ食問題が取沙汰された1年であった。食糧安全保障が問われる現在、今一度日本の食のあり方について考えてい...

食の重要性を問い直す

食に注目の集まった今日こそ、食のあり方を見直す機会なのではないだろうか。私は、現代の日本人は食の安全に敏感になる一方で、食そのものの重要性に対してあまりにも鈍感であるように感じる。食に対する監視の目を光らせるのも大切ではあるが、食に対する自己の姿勢を内省することも忘れてはならない。

食に注目の集まった今日こそ、食のあり方を見直す機会なのではないだろうか。私は、現代の日本人は食の安全に敏感になる一方で、食そのものの重要性に対してあまりにも鈍感であるように感じる。食に対する監視の目を光らせるのも大切ではあるが、食に対する自己の姿勢を内省することも忘れてはならない。

食に注目の集まった今日こそ、食のあり方を見直す機会なのではないだろうか。私は、現代の日本人は食の安全に敏感になる一方で、食そのものの重要性に対してあまりにも鈍感であるように感じる。食に対する監視の目を光らせるのも大切ではあるが、食に対する自己の姿勢を内省することも忘れてはならない。

食に注目の集まった今日こそ、食のあり方を見直す機会なのではないだろうか。私は、現代の日本人は食の安全に敏感になる一方で、食そのものの重要性に対してあまりにも鈍感であるように感じる。食に対する監視の目を光らせるのも大切ではあるが、食に対する自己の姿勢を内省することも忘れてはならない。



学生論壇 社会への声

ト除去改修工事の影響が出た一昨年を除いて大きな変動はなかった。12月4日には、春日宿舎の入居抽選が春日留学生会館交流ホールで行われた。...

ト除去改修工事の影響が出た一昨年を除いて大きな変動はなかった。12月4日には、春日宿舎の入居抽選が春日留学生会館交流ホールで行われた。...

大学中央を流れる 天の川の環境を改善

工事に向けて意見交わす

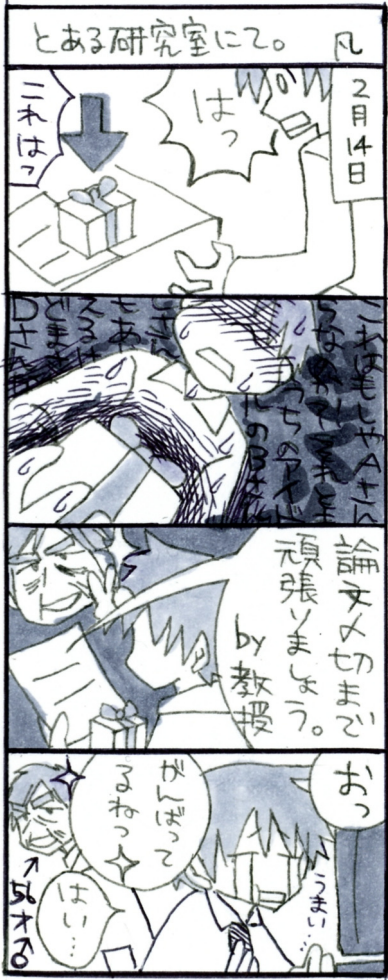
今年8月に施工予定

ウォーターフロントプロジェクトが主催する、天の川の環境改善に関する意見交換会が、12月19日に第三エリア食堂で行われ、約20人が集まった。同プロジェクトは、芸術開設の自由科目「大学を開くアート・デザイン」で、天の川に関するアンケートと水質調査を行った。アンケートでは、水が汚れている、天の川付近の自転車が邪魔になっている、といったような意見が寄せられた。水質調査からある上池から細くなった中流部を経て、第三エリアK棟の前まで、全長270メートル。下池の水を地下で循環させ、上池の噴水で汲み上げるといった仕組みになっている。

昨年7月に同プロジェクトは、天の川に関するアンケートと水質調査を行った。アンケートでは、水が汚れている、天の川付近の自転車が邪魔になっている、といったような意見が寄せられた。水質調査からある上池から細くなった中流部を経て、第三エリアK棟の前まで、全長270メートル。下池の水を地下で循環させ、上池の噴水で汲み上げるといった仕組みになっている。



キャンパスの風景に溶け込む天の川



和やかな空気で会話弾んだ

イングリッシュカフェ

英語での交流図る

学生が企画・運営

本学生が主体となって、企画・運営などを行う第3回イングリッシュカフェが、1月22日の5時半から学生会館ラウンジで行われた。50人を超える留学生や一般の学生、教職員などが集まり、英語での会話を楽しんだ。

実践的な英語力を身につけ、留学生と一般学生が気軽に交流できる環境をつくることを目的として開催。

このような試みは本学初だ。昨年12月11日と21日も、第1回、第2回が開催され、両日とも、約50人が集まった。

旅と鉄道の会

中心とした旅行に出かけた。旅の楽しみは、思いがけない出会いにあるという。代表者の齊藤岳さん(社)

2002年、前身の「鉄道研究会」から、現在のサークル名に改称した。年数回の旅行と「Turn Table」や「くは時刻表」などの冊子刊行が主な活動だ。昨年4月、5月、10月、12月の4回、関東地方を中心とした旅行に出かけた。



旅を通し出会う喜び

「旅と鉄道の会」は、「タモリ倶楽部」などのテレビ番組にも出演している。鉄道ファンやつくばエクスプレスの開通などで、同サークルも注目を集めている。「鉄道に詳しい人だけでなく、誰でも楽しめるようなサークルにしたい」と話す齊藤さん。鉄道の奥深さだけでなく、個性豊かなメンバーと旅をすること、旅と鉄道の会の魅力だ。そこではいつも、新しい出会いが待っている。(本紙・馬野裕子 社会学類)

「旅と鉄道の会」は、18人の旅と鉄道を愛するメンバーが、活動を行っている。2002年、前身の「鉄道研究会」から、現在のサークル名に改称した。年数回の旅行と「Turn Table」や「くは時刻表」などの冊子刊行が主な活動だ。昨年4月、5月、10月、12月の4回、関東地方を中心とした旅行に出かけた。

「ザヤさんを救う会」 募金活動続ける 未だ手術の予定立たず

在腎不全で苦しんでいる。昨年3月に倒れて以来、腎臓の95%が機能停止した状態にある。今年2月に腎臓移植を受ける予定だったが、ドナーとなる血縁者の適合検査が必要のため、手術の日程は未定となっている。

「ザヤさんを救う会」では、移植手術やリハビリなどに必要な費用を捻出するため、取手や土浦のカトリック教会などで募金活動を行っている。

「2天の川の見た目を良くしたい」と思い、参加した。環境改善のため、いろいろ考へていくことがわかり、楽しかった」と語った。

ループで暴行未遂 帰宅中の女子狙う 昨年11月30日午後11時半ごろ、一の矢宿舎へ向かうループ道路で、自転車で行中の本学女子学生が不審な男に後ろから口を押さえられ、暴行を受けた。男は捕まらなかった。

また12月4日と20日に女子学生が非常に多く見られた。学生生活課の土井昇専門職員は「防犯に対して無防備な学生が多い。女性はなるべく夜道に一人で帰らないようにして、危険を感じたらすぐに110番通報してほしい」と話した。

また、ペダストリアンやループ道路沿い32か所に赤いボックスの非常電話が設置されており、受話器を取ると自動で警備室に電話をかけることができる。



「2年」は、活動のほかに、個人で旅に出るほどの旅好きだ。一昨年の8月、4人で福島に旅行した。はじめは水戸に行く予定が、「常磐線の終点に行ってみよう」というメンバーの一言で、福島へ目的地を変更した。福島は遠く、長旅だった。

「一口に「鉄道が好き」と言っても、その興味は車向、走行音、時刻表、何に興味を持つかは人それぞれだ。そんな鉄道の奥深さを教えてくれるのが、旅と鉄道の会が発行する「Turn Table」

「旅と鉄道の会」は、「タモリ倶楽部」などのテレビ番組にも出演している。鉄道ファンやつくばエクスプレスの開通などで、同サークルも注目を集めている。「鉄道に詳しい人だけでなく、誰でも楽しめるようなサークルにしたい」と話す齊藤さん。鉄道の奥深さだけでなく、個性豊かなメンバーと旅をすること、旅と鉄道の会の魅力だ。そこではいつも、新しい出会いが待っている。(本紙・馬野裕子 社会学類)

自動車通行自粛

中央図書館南側道路で

共同利用棟の完成及び、スチューデントプラザ開所により、中央図書館南側道路の交通量が著しく増加し...

春休み図書館

春休みに伴い、3月8日から附属図書館の開館時間と貸出時間が変更される。中央・体芸・図情図書館...

土日、祝日は閉館

後5時、貸出時間が午前9時午後4時半。土日、祝日は閉館。

定期健康診断

平成20年度に実施する教育実習・特別支援教育実習を含む、及び介護体験を履修する学生に対し、定期健康診断と麻疹の抗体検査並びに例年行っている医学...

2月27-29日に実施

類、看護・医療科学類の学生の定期健康診断を2月27-29日に実施する。

Who's Who?

開学以来最高齢の院生

幡谷 祐一 さん (生命環境科学研究科後期1年)

幡谷祐一さん(84歳)は、昨年春、開学以来最高齢の院生が誕生した。幡谷祐一さん(84歳)は、県信用組合理事長を務める傍ら、本学の生命環境科学研究科で環境問題を専攻している。

幡谷さんの自宅のある水戸から大学まで、車で片道1時間かかる。長い通学時間も、幡谷さんはまったくおっくうに感じないという。大学には週に1回のペースで通い、授業の際には一番前の席に座る。「若い人々と一緒にいると、いい意味で緊張する。体力じゃ勝てないから、研究を続けるという気力で勝負だ」と幡谷さん。「始めた

戸市)と茨城トヨベツト(同)などが本学と共同で行っているプロジェクトで、各事業所内の食堂や従業員の家庭から廃食用油を回収・精製してバイオディーゼル燃料として利用するものだ。二酸化炭素の排出削減を目的。今はまだ実験段階だが、昨年9月から廃食用油の回収を開始し、月600リットルのペースで精製が進んでいる。精製された燃料は、幡谷さんの経営する自動車教習所の送迎バスの燃料として、実験的に使用されている。

信念持って挑戦続ける

食用油をバイオ燃料に

環境汚染への問題意識が高まっている昨今、水戸市周辺の小さな規模で始まった二酸化炭素削減の取り組みは、日本、やがて世界に広まる可能性を秘めている。将来は、茨城トヨベツトの車の一部でもバイオディーゼル車にしたい」と幡谷さんは語る。幡谷さんの挑戦はこれからも続きそうだ。(本紙松本典子 人文学期)

Who's Who?



「社会に奉仕したい」と語る幡谷さん

自分ができることがあるなら、少しでも貢献したい。

自分ができることがあるなら、少しでも貢献したい。

うちわ話

☆引退記者からひとこと☆

授業評価ではまった教授。スポーツ担当はやらないつもが、瞬間を追いかけたテニスとバレ。長夢の国だと彼女は言った。大学新聞は世界を広げるきっかけをくれた。多くの人々に感謝したい。(こぎ)

次号は

4月7日(月)

発行予定です

筑波自然図鑑

◇ヘクソカズラ◇



ヘクソカズラはよく道端の茂みからまっぴります。写真にあるオレンジ色の実がそれです。名前から分かるように、この草は臭い。それも、屁と糞という身近な臭いで。本当にリアルな匂いがするので、皆さんも是非試してみてください。花や実をすりつぶせば堪能することができます。また、是非その魅力を他の人にも伝えてあげてください。きっと臭がりつつも喜んでくれるでしょう。(写真・文 川中弘毅、生物3年 野生動物研究会)

催事

演奏会

邦楽部卒業演奏会 2月16日、つくば文化会館アルス(つくば市立図書館2階)で開催。午後2時半開演、午後3時開演。入場無料。

フォーラム

筑波山ルネッサンス 2月9日、午後1時からつくばカピオホールで開催。入場無料。

発表会

imable 銀座公演 2月16日、午後6時半-8時まで。アップルストア銀座にて。T.H.K.筑波放送協会のOBを中心に、プレゼンテーションやショートフィルム、メディア・パフォーマンスなどの作品を披露する。問い合わせはホームページ http://www.imable2007.net/index.html

展覧会

高校生彫刻大賞展 2月9-13日、午前10時-午後5時まで総合交流会館で。入選、入賞作品の展覧会と授賞式を開催する。入選者の授賞式は、9日の午後1時から、大会館ホールで行われる。問い合わせは芸術学系彫塑研究室 029-8553-4013

大学館書籍部ベストセラー

Table with 2 columns: Rank (1-10) and Book Title/Author. 1. ニッポンの大学 (小林哲夫/講談社), 2. 親の品格 (坂東眞理子/PHP研究所), 3. 「朝30分」を続けなさい! (古市幸雄/アスコム), 4. 生物と無生物のあいだ (福岡伸一/講談社), 5. できる人の勉強法 (安河内哲也/中経出版), 6. 女性の品格 (坂東眞理子/PHP研究所), 7. チームバチスタの栄光(上) (海堂尊/宝島社), 8. チームバチスタの栄光(下) (海堂尊/宝島社), 9. タイピング・アイ (東野圭吾/光文社), 10. 養老訓 (養老孟司/新潮社)

1月の1位は小林哲夫の「ニッポンの大学」。5位は安河内哲也の「できる人の勉強法」。予備校のカリスマ講師である著者が、頭が冴えている時間に集中して勉強する、何度も音読をするといった、言わなければならない意外な気がない、だが効果的かつ効果のある学習法を説く。(朝倉書店フェア 3月中旬まで、丸善兵立辞典フェア 3月下旬まで)